

令和 6 年度 岐阜女子大学卒業後アンケート

事務局総務部

1. 調査の概要

【実施時期】

令和 6 年 9 月 1 日から令和 7 年 1 月 31 日まで

【対象】

岐阜女子大学 令和 5 年度卒業生 および 平成 30 年度卒業生

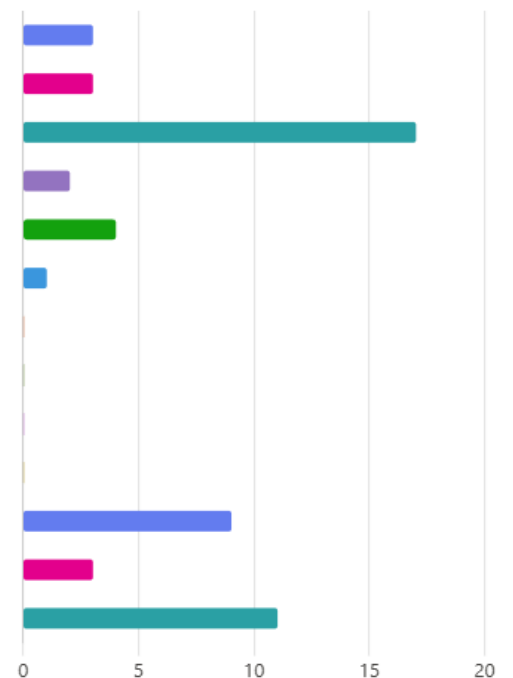
【調査方法】

卒業生へアンケート依頼書を郵送し、Microsoft Forms での回答または 郵送 にて回収

【回答者内訳(単位:人)】 53 名

2. 卒業された学科専攻（専修・コース）を選んでください

● 生活科学専攻	3
● 住居学専攻	3
● 健康栄養学科	17
● 文化創造学専攻 書道国語専修 書道教育コース	2
● 文化創造学専攻 書道国語専修 国語教育コース	4
● 文化創造学専攻 観光専修 観光ビジネスコース	1
● 文化創造学専攻 観光専修 英語教育コース	0
● 文化創造学専攻 観光専修 ホテルマネジメントコース	0
● 文化創造学専攻 観光専修	0
● 文化創造学専攻 アーカイブ専修	0
● デジタルアーカイブ専攻	9
● 初等教育学専攻 子ども発達専修	3
● 初等教育学専攻 学校教育専修	11



2. 調査結果

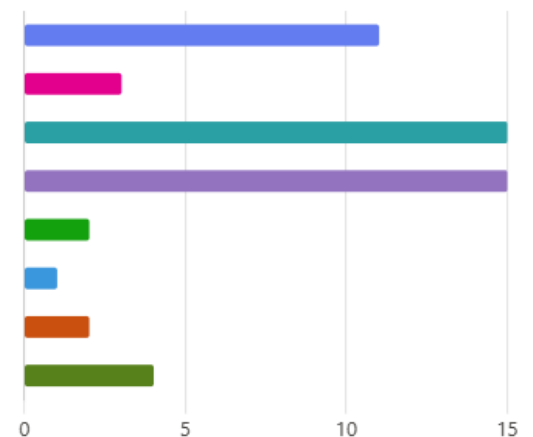
○ 現在の職業、雇用形態について

卒業生の現在の勤務先の業種は、「教育系(保育士・教員など)」15人、「栄養系(管理栄養士など)」11人等となっており、昨年度までの本調査結果と同様、回答者の卒業した学科・専攻の主な就職先に関連した結果である。「会社員」15人、「公務員」2人という回答もみられたが、「教育系」の「公務員」、「栄養系」の「会社員」などと混同する設問であったため、次年度以降、修正が必要である。

雇用形態は、「正規雇用社員」が多い。

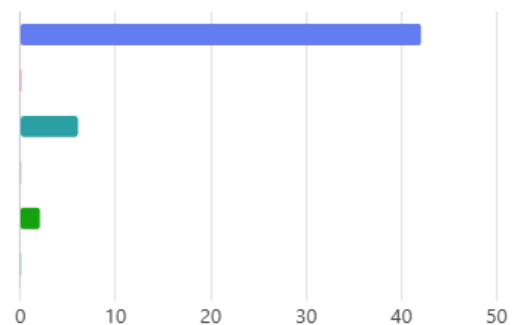
3. 現在の職業等について、もっともあてはまるものを選んでください

● 栄養系（管理栄養士など）	11
● 建築系（建築士・インテリアデザイナーなど）	3
● 教育系（保育士・教員など）	15
● 会社員	15
● 公務員	2
● 学生	1
● 家事従事者	2
● その他	4



4. 勤務先の雇用形態について、あてはまるものを選んでください

● 正規雇用社員	42
● 役員・自営	0
● 契約社員	6
● 派遣社員	0
● パート・アルバイト	2
● その他	0

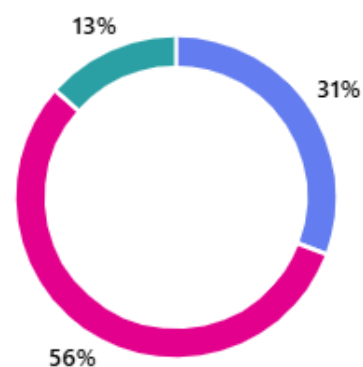


○ 現在の職業等の充実感について

現在の職業等の充実感について、「とても充実感を感じている」31%(16 人)、「やや充実感を感じている」56%(29 人)、「あまり充実感を感じていない」13%(7 人)、「まったく充実感を感じていない」0%(0 人)であった。昨年度の本調査結果と比べ、回答者数は増えたが、昨年度の本調査結果と同様、「とても充実感を感じている」、「やや充実感を感じている」の割合が高く、「まったく充実感を感じていない」は 0 人であった。また、岐阜女子大学での学びや経験が現在役立っているかの回答割合は、9 割が「とても役立っている」・「やや役立っている」であったが、「役立っていない」の回答も 1 人であるがみられた。

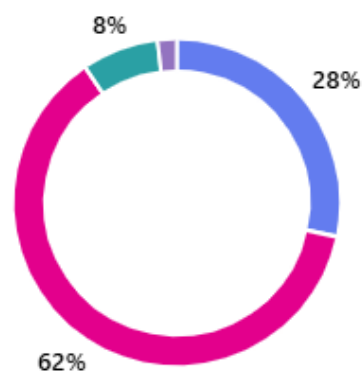
5. 現在の職業等は充実していますか

● とても充実感を感じている	16
● やや充実感を感じている	29
● あまり充実感を感じていない	7
● まったく充実感を感じていない	0



7. 岐阜女子大学での学びや経験は、現在の生活やキャリアに役立っていますか

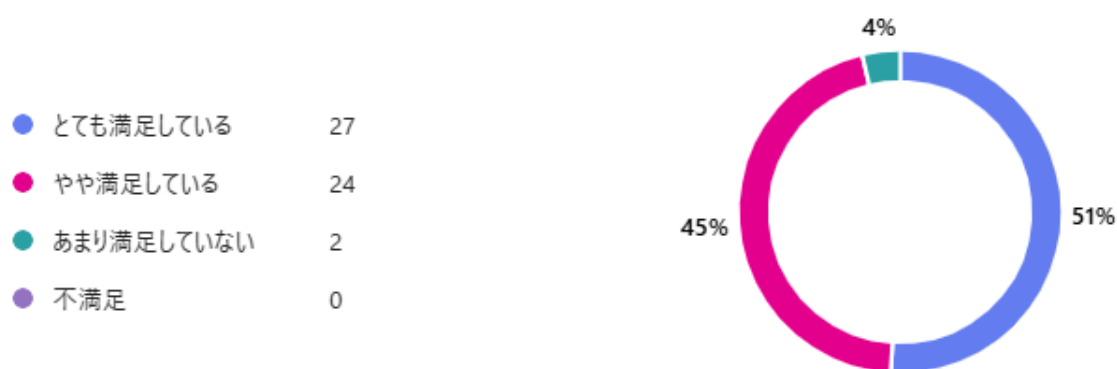
● とても役立っている	15
● やや役立っている	33
● あまり役立っていない	4
● 役立っていない	1



○ 大学で学んだことの満足度について

あなたは岐阜女子大学で学んだことについて満足していますか、の問に対しては、「とても満足している」51%(27人)、「やや満足している」45%(24人)、「あまり満足していない」4%(2人)、「不満足」0%(0人)となっている。昨年度より、「とても満足している」の割合は減少しているが、「とても満足している」、「やや満足している」の回答は、例年同様9割以上となっている。

6. あなたは岐阜女子大学で学んだことについて満足していますか



○ 大学の学びや生活と現在について

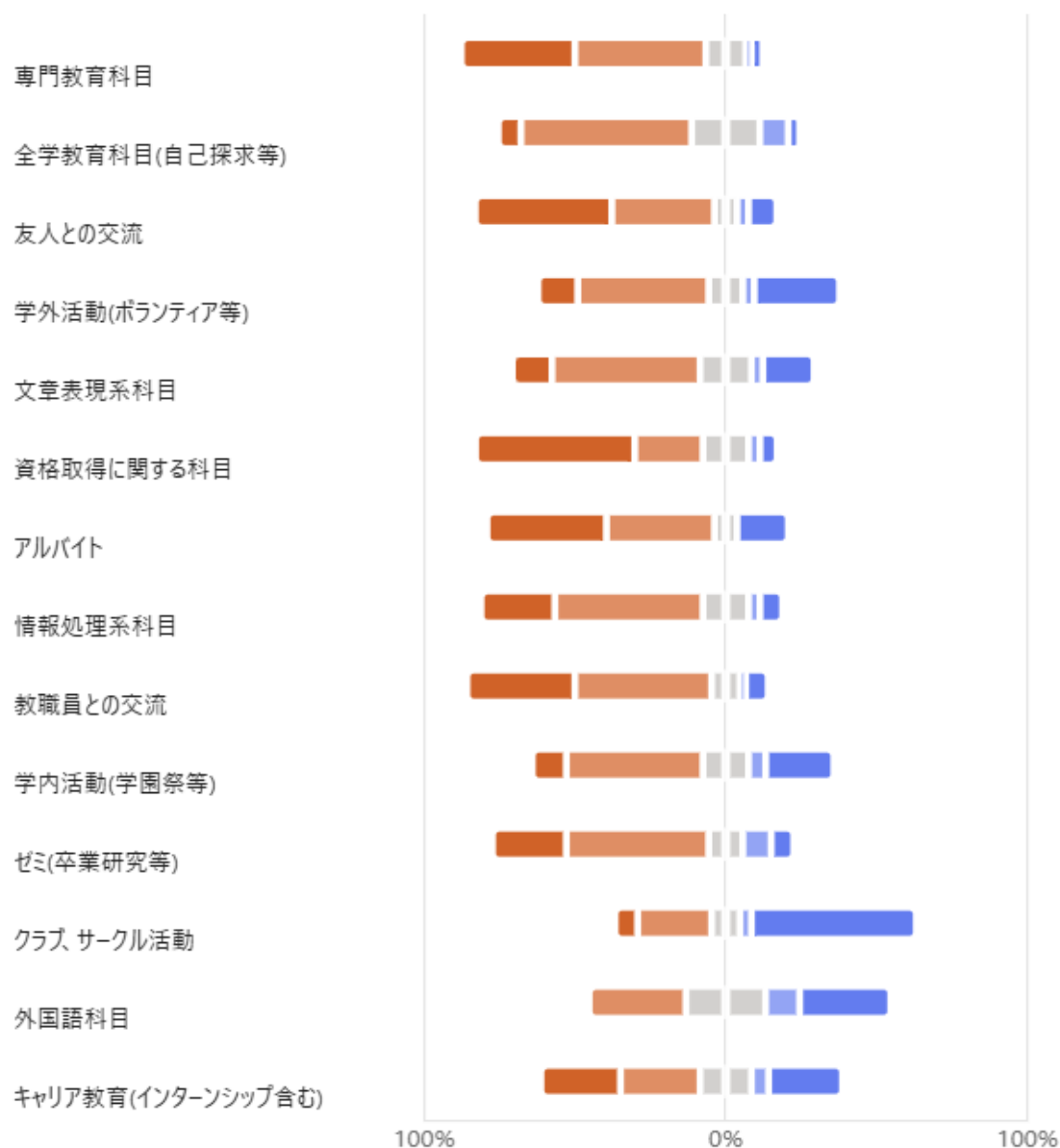
大学時代に講義や実習などの授業で学んだことや授業以外の経験は現在どの程度役立っていますか、の問に対しては、「とても役立っている」の回答が多かった順に、「資格取得に関する科目」(52.8%)、「友人との交流」(45.3%)、「専門教育科目」(37.7%)であった。

また、「ある程度役立っている」の回答では、「全学教育科目(自己探求等)」(56.6%)、「文章表現系科目」および「情報処理系科目」(49.1%)、「ゼミ(卒業研究等)」(47.2%)であった。基礎教養科目、専門科目、資格取得科目、文章表現科目、ゼミ(卒業研究)等、大学が力を入れている教養・専門科目、資格、研究科目が役立っていると回答されており、順番の入れ替えは若干あるが、例年同様の結果であった。

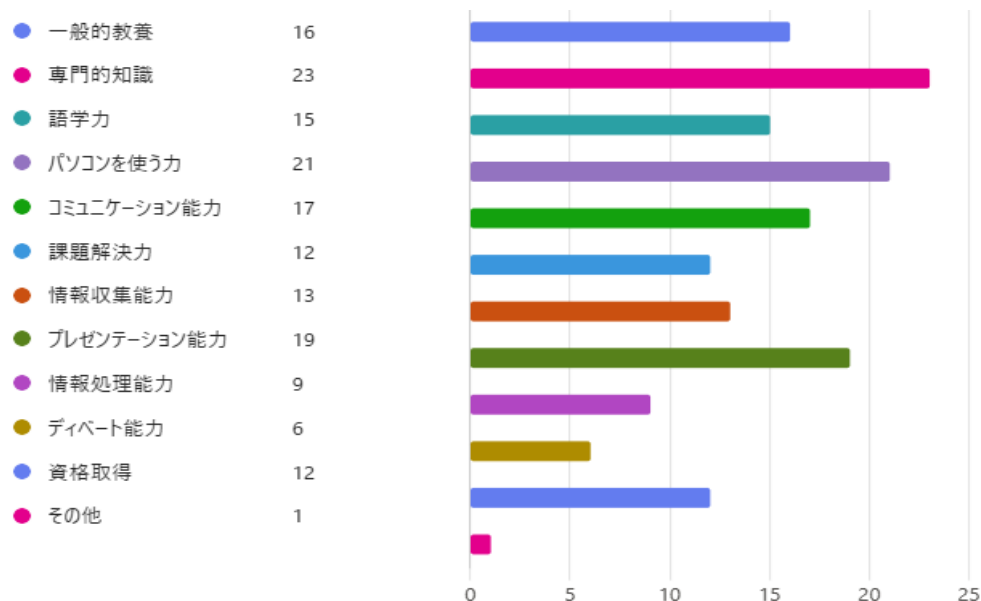
在学中にもっと学びたかった、身に付けたかったと思う力について、あてはまるものをすべて選んでください、の問に対しては、「専門的知識」、「パソコンを使う力」、「プレゼンテーション能力」、「コミュニケーション能力」の割合が高く、昨年度調査に比べ「資格取得」の割合が高くなっており、卒業後、さらなる資格取得、能力向上を求めていることが窺える。

8. 大学時代に講義や実習などの授業で学んだことや授業以外の経験は、現在どの程度役立っていますか、あてはまるものを選んでください

● とても役立っている ● ある程度役立っている ● あまり役立っていない ● 役立っていない ● 該当なし



9. 在学中にもっと学びたかった、身に付けたかったと思う力について、あてはまるものをすべて選んでください



○ 大学の各種環境について

充実していたと思う各種環境については、「資格取得」、「実験・実習」、「アドバイザー制度」の割合が他に比べて高い。

10. 岐阜女子大学の各種環境で充実していたと思われるものを3つ選んでください

